

## Recherche 00118 ロッタコート仕様書

布帛用

パターンパーツ数 11

裏地付き

シームポケット有り

～付属品～

接着芯

留め具

サイズ		80	90	100	110	120	130	140	150
着丈		38	40	42	44.5	48	51.5	55	58.5
バスト		62	65	68	71.5	75.5	79.5	83.5	87.5
裾丈		26	27	28	29	30.3	31.6	32.9	34.2
用尺（表地）	110巾	120	130	140	150	170	190	210	250
	140巾	105	115	120	130	140	155	160	180
用尺（裏地）	90巾	120	130	140	150	160	185	195	210

用尺はあくまでも目安です。

生地の有効巾・地直し・粗裁ちパーツ等によって変わりますのでご注意ください。

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。

いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転売はご遠慮ください。

**■ 用語**

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

**■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。****■ 伸び止めテープ・接着芯貼りは省略しています。****■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。**

**パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。**

**※以下の「裁断・接着芯」「ノッチ(切り仕付け)」は平行して作業します。**

**裁断・接着芯**

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

**!!! 重要 !!!**

下側になる衿(裏衿)には必ず**裏地**を使います。

接着芯を貼るパーツ「前見返し」「後見返し」「比翼布1枚」は少し大きめに粗裁ちします。  
(※接着芯を貼ると生地が縮む為、接着後に裁ち直します。)

生地に合った接着芯を貼ります。

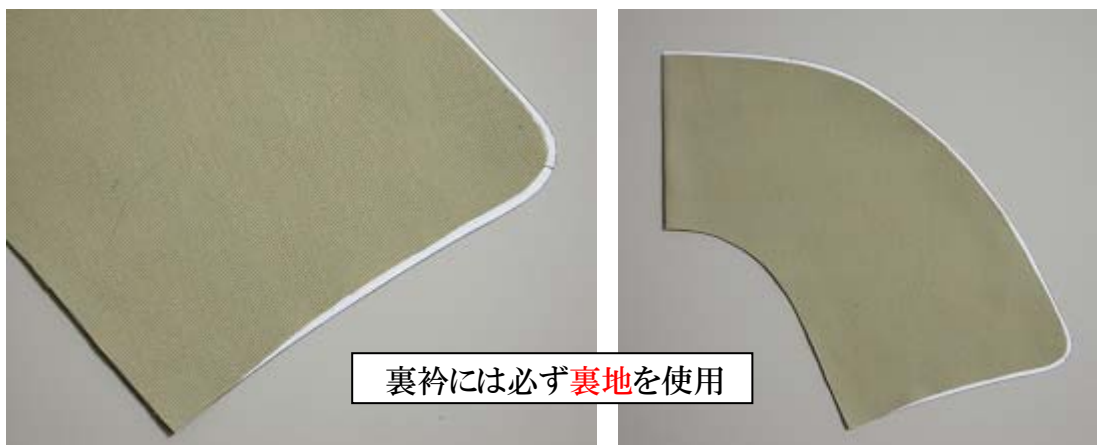
「ポケット口」の接着芯はポケット口より 1~2センチ長く貼ります。(パターン上に指示有り)

粗裁ちしたパーツをパターン通りに裁断します。

**※衿には芯を貼りませんのでご注意ください。**

「裏衿」は上衿(表地)の生地の厚みに応じて小さく裁断します。

※衿付け位置は表衿と同線で、その他外周は「上衿(表地)の厚み×2」カット



#### ノッチ(合印)を入れます

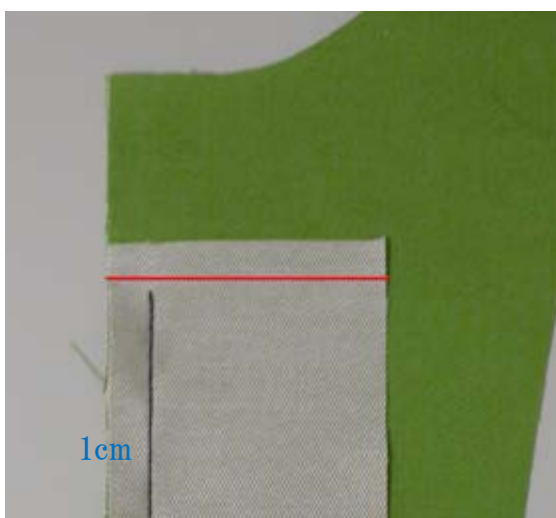
※ ノッチ(合印)とは、縫い代に 0.3 cm 程度の切り込みを入れることです。

※ ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※ 各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

#### 比翼・ボタンホール

「右前見返し」と「比翼布(接着芯有り)」を**中表**に重ね、直線ミシンで縫い合わせます。  
(縫い代 1 センチ)



比翼止まり(左画像の赤ライン)より一針手前で縫い止めます。

※裾側も同様に一針手前で縫い止めます。

比翼止まりに切り込みを入れ、表に返し、縫い代を開きます。



比翼布を見返しより 2 ミリ控えてアイロンをかけます。

「比翼布」と「見返し」を重ねたまま一緒にボタンホールを開けます。



同様に「右前身頃」と「比翼布(接着芯無し)」を直線ミシンで縫い合わせます。

押さえステッチをかけます。

※縫い始めと縫い終わりは返し縫いをせずに長めに糸を残し、比翼布側に引き抜いておくと綺麗に仕上がります。

### 身頃脇ポケット



「前身頃」と「後身頃」を**中表**に重ね、ポケット口を避けて直線ミシンで縫い合わせます。

Recherche 仕様書ページの部分縫い「シームポケット」を参考に、ポケットを付けます。

部分縫い「シームポケット」URL <http://www.recherche.ne.jp/recherche001.pdf>

※ロッタコートは裏地付きなので外周のロックミシン処理は必要ありません。



「裾」の出来上がり線に**アイロン**をかけておきます。



## 衿

「上衿」と「下衿」を中表に重ね、合印を合わせ、まち針を打ちます。

縫い代の端を合わせて上衿の出来上がり線で縫い合わせます。

※下衿の寸法が小さい為にツレが出ますが、馴染ませながら縫い進めます。



外周の縫い代を5ミリにカットし、切り込みを入れます。

※カーブの大きいところは多めに

※衿先の縫い代は左画像のようにカットします。



表に返しアイロンで整えます。

※下衿を1~2ミリ控えます。



衿の外周にステッチをかけます。



衿を着用時の角度に折り曲げ、折り返し分量を見ます。



返し分を入れたまま押さえミシンをかけます。

※出来上がり線より縫い代側に



はみ出ている下衿の縫い代をカットします。

表身頃～袖～



「袖下」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代をアイロンで割ります。

「裾」の出来上がり線にアイロンをかけておきます。



### 表身頃～AH～

「身頃の AH」と「袖」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



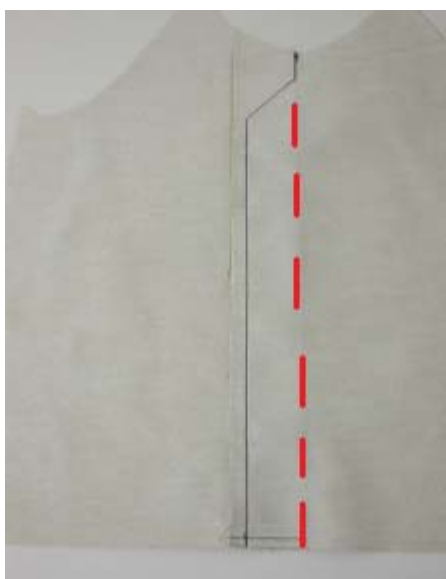
アイロンで縫い代を身頃側に倒します。

### 裏身頃



「後身頃(裏地)」二枚を中表に重ね、直線ミシンで縫い合わせます。

パターンを確認し、左画像のようにきせをかけます。



裾の縫い代に押さえミシンをかけます。

アイロンで縫い代**左脇側**に倒します。

※赤ラインがアイロン線



※表から見たところ



「前身頃(裏地)」と「後身頃(裏地)」を**中表**に重ね、脇を直線ミシンで縫い合わせます。

拡大





パターンを確認し、左画像のようにきせを  
かけます。

アイロンで縫い代を後身頃側に倒します。  
※赤ラインがアイロン線



裏身頃～袖～



「袖(裏地)」を中表に重ね、直線ミシンで縫い合  
合わせます。

パターンを確認し、きせをかけます。  
アイロンで縫い代を後側に倒します。

### 裏身頃～AH～



「身頃(裏地)の AH」と「袖(裏地)」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。  
アイロンで縫い代を**身頃側**に倒します。

### 裏身頃～見返し～



「前見返し」と「後見返し」を**中表**に重ね、SL を直線ミシンで縫い合わせます。



アイロンで縫い代を割ります。



「身頃(裏地)」と「見返し」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

裾の折り返し部分は反り合って縫い難いので、曲がる位置で針を下ろしたまま切り込みを入れます。



画像では見返しを上にして縫っていますが、裏地を上にした方が縫い易いです。

生地によっては切り込みを省略できる場合もあります。

切り込みを入れる場合は見返しのみにします。



後見返し周辺の裏地の縫い代に切り込みを入れます。

※深く入れすぎないように注意

※縫い合わせ難い場合は、切り込みながら縫い進めます。



アイロンで縫い代を身頃側に倒します。

### 袖口

裏返した「表身頃の袖口」と「裏身頃の袖口」を中表に重ね、出来上がり線を縫い合わせます。(縫い代1センチ)





背中合わせ(腹合わせでも可)にして、反対側の袖口も縫い合わせます。

### 中綴じ

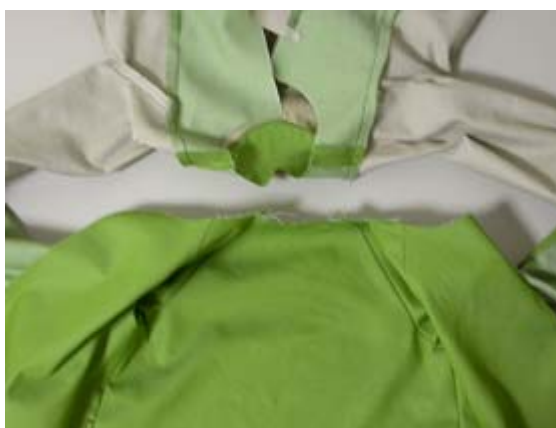


左画像★印どうしを縫い留めます。  
(袖下縫い代の後側)



### 衿ぐり

「表身頃の表面」に「衿(上衿が上になるように)」を置きます。



衿を直線ミシンで仮留めします。  
※出来上がり線より縫い代側に





衿の上に「裏身頃の見返し」を**中表**に重ね、出来上がり線を縫い合わせます。



※右身頃は比翼布の位置まで縫います。



※左身頃も前端角で一旦縫い止めます。



角を切り落とし、衿ぐりに切り込みを入れます。  
※カーブの大きいところは多めに

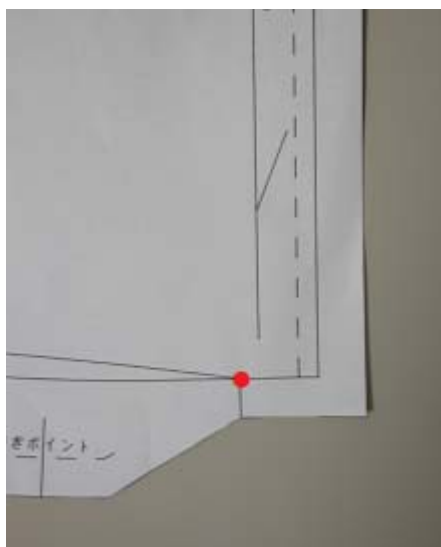
### 中綴じ



袖下と同様に袖底の中綴じをします。

### 前端

「前端」を直線ミシンで縫い合わせます。赤い丸印の位置で縫い止めます。





※右身頃は比翼布の下～縫い止り(赤い丸印)まで縫います。

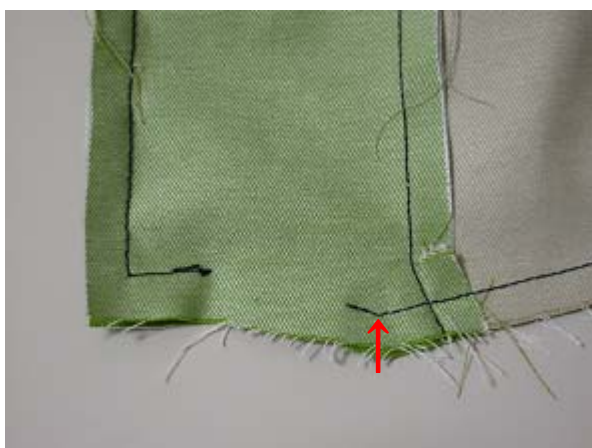


※左身頃は前端角で縫い止めた位置～縫い止り(赤い丸印)まで縫います。

### 裾

CBに返し口を10～15センチ程残し、前端に向かって出来上がり線を縫い合わせます。





矢印から 2~3 針上がったところで縫い止めます。



※反対側



縫い代の角をカットします。

### 仕上げ

返し口から身頃・袖を引っ張り出し、表に返し、アイロンで整えます。



「左身頃の前端」~「衿ぐり」~「右身頃」までステッチをかけます。



※右身頃は比翼布のステッチまで(赤い丸印)



※裾側は比翼布のステッチの終わり(青い丸印)から裾線まで

比翼押さえステッチをかけます。





比翼布にかんぬき留めをします。  
※ループでも可

CBの返し口をまつります。



見返しの裾は縫われていないので、気  
になる場合はまつります。

第一ボタンのボタンホールを開けます。  
ボタンを付けます。

-----  
完成